



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社やまびこ 上場取引所 東
 コード番号 6250 URL <https://www.yamabiko-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 久保 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画・経理本部長 (氏名) 二藤部 浩 TEL 0428-32-6111
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年12月期第1四半期 | 38,861 | 9.9 | 6,026 | 102.9 | 5,913 | 66.9 | 3,831 | 36.9 |
| 2022年12月期第1四半期 | 35,348 | △7.4 | 2,970 | △14.3 | 3,543 | △10.2 | 2,797 | △2.4 |

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 4,225百万円 (△10.5%) 2022年12月期第1四半期 4,718百万円 (1.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期第1四半期 | 92.08 | — |
| 2022年12月期第1四半期 | 67.32 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年12月期第1四半期 | 145,192 | 80,514 | 55.5 | 1,934.98 |
| 2022年12月期 | 141,198 | 77,373 | 54.8 | 1,859.47 |

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 80,514百万円 2022年12月期 77,373百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期 | — | 26.00 | — | 26.00 | 52.00 |
| 2023年12月期 | — | — | — | — | — |
| 2023年12月期（予想） | — | 26.00 | — | 26.00 | 52.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|--------|------|--------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 84,000 | 5.5 | 9,600 | 50.8 | 9,000 | 18.9 | 6,200 | 6.0 | 149.00 |
| 通期 | 157,000 | 0.5 | 13,500 | 55.4 | 12,800 | 38.9 | 8,300 | 31.8 | 199.55 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年12月期1Q | 44,108,428株 | 2022年12月期 | 44,108,428株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年12月期1Q | 2,498,470株 | 2022年12月期 | 2,498,222株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年12月期1Q | 41,609,990株 | 2022年12月期1Q | 41,556,959株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| (重要な後発事象) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く市場環境につきましては、米国経済は良好な雇用環境が個人消費を下支えし堅調に推移しましたが、ウクライナ紛争の長期化や金融引き締めに伴う米国金融機関の破綻が相次ぎ、世界経済の減速が懸念されるなど依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の下、当社グループの主力である海外小型屋外作業機械（OPE: Outdoor Power Equipment）については北米市場および欧州市場における販売が堅調に推移しました。また北米市場においては建設、エンターテイメント需要の増加により発電機の強い需要が続いており、一般産業用機械の販売が引き続き高い伸びを示しています。

国内におきましては、肥料・燃料価格の高騰による農業従事者の購買意欲減退の影響を受けたことに加え、製品改修に伴う販売停止や新製品の発売遅延の影響などにより販売が減少しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は次のとおりとなりました。

| | 2022年12月期 第1四半期連結累計期間 | 2023年12月期 第1四半期連結累計期間 | 増減額 | 増減率 |
|----------------------|--------------------------|--------------------------|-------|-------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % |
| 売上高 | 35,348 | 38,861 | 3,513 | 9.9 |
| 国内 | 10,707 | 9,896 | △811 | △7.6 |
| 海外 | 24,640 | 28,965 | 4,324 | 17.6 |
| 米州 | 19,743 | 23,473 | 3,729 | 18.9 |
| その他海外 | 4,896 | 5,492 | 595 | 12.2 |
| 営業利益 | 2,970 | 6,026 | 3,055 | 102.9 |
| 経常利益 | 3,543 | 5,913 | 2,370 | 66.9 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 2,797 | 3,831 | 1,033 | 36.9 |

[売上高]

国内は、刈払機や畦草刈機など草刈関連機械の需要が底堅く推移したものの、防除機など農業用管理機械において肥料・燃料価格の高騰による農業従事者の購買意欲減退の影響を受け売上は減少しました。一般産業用機械については好調な建設工事需要を背景に発電機の売上が伸長した一方で、昨年実施した価格改定の影響もあって溶接機の販売が落ち込んだことに加え、製品改修に伴う販売の一時停止や当第1四半期に発売を予定していた新製品の遅れが影響し減少しました。その結果、国内売上高は前年同期比7.6%減収の98億円となりました。

海外は、北米市場と欧州市場にて主力の小型屋外作業機械の販売が堅調に推移したことに加え、北米市場において一般産業用機械の販売が伸長したほか、円安による押し上げ効果もあり海外売上高は前年同期比17.6%増収の289億円となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比9.9%増収の388億円となりました。

[損益]

前年同期に比べ原価上昇による利益への影響があるものの、前期に積み上がった北米子会社の製品および生産用部材の在庫の販売が今期順調に進捗し収益化が進んだことに加え、為替の影響および昨年からの国内外で段階的に実施してきた価格改定の効果によって営業利益は前年同期比102.9%増益の60億円、経常利益は66.9%増益の59億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は36.9%増益の38億円となりました。

[セグメント別の業績]

① 小型屋外作業機械

| | 2022年12月期 第1四半期連結累計期間 | 2023年12月期 第1四半期連結累計期間 | 増減額 | 増減率 |
|-----|--------------------------|--------------------------|--------------|-----------|
| 売上高 | 百万円 25,300 | 百万円 28,892 | 百万円 3,591 | % 14.2 |
| 国内 | 3,438 | 3,526 | 88 | 2.6 |
| 海外 | 21,862 | 25,365 | 3,503 | 16.0 |

国内：肥料・燃料価格の高騰を受けて農業従事者の購買意欲が減退したことで防除機等の販売が減少したものの、良好な天候を背景とした刈払機やチェーンソーの販売が堅調に推移したことで前年を上回りました。
 海外：北米市場や順調な天候に支えられた欧州市場において堅調な販売が継続したことに加え、円安による為替効果が寄与し大幅な増収となりました。

② 農業用管理機械

| | 2022年12月期 第1四半期連結累計期間 | 2023年12月期 第1四半期連結累計期間 | 増減額 | 増減率 |
|-----|--------------------------|--------------------------|-------------|------------|
| 売上高 | 百万円 5,807 | 百万円 5,222 | 百万円 △584 | % △10.1 |
| 国内 | 3,979 | 3,457 | △522 | △13.1 |
| 海外 | 1,827 | 1,765 | △62 | △3.4 |

国内：農業従事者の購買意欲の減退を背景に販売が減少したことに加え、一部製品群において安全性に配慮した製品への切り替えを行う為の一時的な販売停止などが影響して減収となりました。
 海外：北米は、引き続き穀物価格が高値安定する市場環境の追い風を受け農業事業者の高い投資意欲が続いているものの、天候不順の影響を受けてポテト関連製品の販売が遅れたことにより減収となりました。

③ 一般産業用機械

| | 2022年12月期 第1四半期連結累計期間 | 2023年12月期 第1四半期連結累計期間 | 増減額 | 増減率 |
|-----|--------------------------|--------------------------|------------|-----------|
| 売上高 | 百万円 3,785 | 百万円 4,347 | 百万円 561 | % 14.8 |
| 国内 | 2,838 | 2,513 | △324 | △11.4 |
| 海外 | 947 | 1,834 | 886 | 93.5 |

国内：好調な建設工事需要を背景に発電機の販売が伸長した一方で、昨年実施した価格改定の影響もあって溶接機の販売が減少したことに加え、一部製品で不具合に伴う製品改修を行ったことや、計画していた新製品の発売が遅れたことも影響し減収となりました。
 海外：北米を中心に旺盛な建設、エンターテインメント需要を背景に発電機の販売が伸長したことに加え、環境意識の高い欧州で環境負荷の低いハイブリッド溶接機の販売が好調に推移したことで大幅な増収となりました。

④ その他

| | 2022年12月期 第1四半期連結累計期間 | 2023年12月期 第1四半期連結累計期間 | 増減額 | 増減率 |
|-----|--------------------------|--------------------------|------------|------------|
| 売上高 | 百万円 454 | 百万円 398 | 百万円 △55 | % △12.2 |

主要3事業以外の売上高は、主要セグメントに含まれない生産子会社の売上高や商品等で構成されています。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて39億93百万円増加し1,451億92百万円となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加73億41百万円、商品及び製品の増加18億69百万円、仕掛品の減少12億18百万円等によるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて8億52百万円増加し646億77百万円となりました。

その主な要因は、借入金の増加12億39百万円、賞与引当金の増加10億87百万円、未払法人税等の減少10億99百万円等によるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて31億41百万円増加し805億14百万円となりました。

その主な要因は、利益剰余金の増加27億47百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.7ポイント増加し、55.5%となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローが7億74百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが10億58百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが24百万円の支出となりました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の資金残高は139億99百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益59億29百万円、売上債権の増加額65億67百万円、賞与引当金の増加額10億87百万円、未収消費税等の減少額23億15百万円、法人税等の支払額17億95百万円等により、7億74百万円の収入（前年同四半期は78億72百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出10億83百万円等により、10億58百万円の支出（前年同四半期は9億17百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加額17億78百万円、配当金の支払額9億87百万円等により、24百万円の支出（前年同四半期は80億34百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績の進捗状況などを勘案し、連結業績の見直しを行った結果、2023年2月13日に公表いたしました当第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたしました。

売上高は、概ね計画通り進捗していることから変更いたしません。損益につきましては、前期に積み上がった在庫の消化による収益化への貢献が想定以上に進んだことから、営業利益を前回見直しから12億円上方修正した96億円といたします。それに伴い経常利益を前回見直しから10億円増の90億円、親会社株主に帰属する四半期純利益を8億円増の62億円といたします。

一方で、通期の連結業績予想につきましては、引き続き先行き不透明な市場環境が続くことから、据え置きといたします。

なお、今後の為替レートは、1 USドル=130円、1 ユーロ=140円としており、前回公表時から変更ありません。

2023年12月期第2四半期連結業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年6月30日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------|--------|-------|-------|------------------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 84,000 | 8,400 | 8,000 | 5,400 | 129.82 |
| 今回発表予想(B) | 84,000 | 9,600 | 9,000 | 6,200 | 149.00 |
| 増減額(B-A) | — | 1,200 | 1,000 | 800 | — |
| 増減率(%) | — | 14.3 | 12.5 | 14.8 | — |
| (ご参考)前期実績 | 79,640 | 6,367 | 7,568 | 5,850 | 140.70 |

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 14,404 | 14,132 |
| 受取手形及び売掛金 | 27,947 | 35,289 |
| 電子記録債権 | 3,796 | 3,331 |
| 商品及び製品 | 31,752 | 33,622 |
| 仕掛品 | 4,642 | 3,423 |
| 原材料及び貯蔵品 | 19,359 | 18,725 |
| その他 | 3,974 | 2,070 |
| 貸倒引当金 | △316 | △329 |
| 流動資産合計 | 105,559 | 110,265 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 8,673 | 8,574 |
| 土地 | 7,720 | 7,721 |
| その他（純額） | 9,581 | 9,718 |
| 有形固定資産合計 | 25,975 | 26,014 |
| 無形固定資産 | 996 | 1,190 |
| 投資その他の資産 | | |
| 退職給付に係る資産 | 2,749 | 2,729 |
| その他 | 6,257 | 5,320 |
| 貸倒引当金 | △339 | △328 |
| 投資その他の資産合計 | 8,667 | 7,722 |
| 固定資産合計 | 35,639 | 34,926 |
| 資産合計 | 141,198 | 145,192 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,898 | 8,835 |
| 電子記録債務 | 13,390 | 12,667 |
| 短期借入金 | 17,019 | 18,909 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 4,257 | 8,806 |
| 未払法人税等 | 1,793 | 694 |
| 賞与引当金 | — | 1,087 |
| 製品保証引当金 | 1,063 | 1,099 |
| 厚生年金基金解散損失引当金 | 475 | 231 |
| その他 | 7,637 | 6,984 |
| 流動負債合計 | 53,533 | 59,316 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 8,100 | 2,900 |
| 退職給付に係る負債 | 44 | 49 |
| 製品保証引当金 | 510 | 486 |
| 厚生年金基金解散損失引当金 | 76 | 18 |
| 役員株式給付引当金 | 246 | 259 |
| その他 | 1,313 | 1,647 |
| 固定負債合計 | 10,291 | 5,361 |
| 負債合計 | 63,825 | 64,677 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,000 | 6,000 |
| 資本剰余金 | 9,286 | 9,286 |
| 利益剰余金 | 54,305 | 57,053 |
| 自己株式 | △743 | △743 |
| 株主資本合計 | 68,847 | 71,595 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,054 | 1,145 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △10 |
| 為替換算調整勘定 | 6,741 | 7,071 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 729 | 713 |
| その他の包括利益累計額合計 | 8,525 | 8,919 |
| 純資産合計 | 77,373 | 80,514 |
| 負債純資産合計 | 141,198 | 145,192 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 35,348 | 38,861 |
| 売上原価 | 25,139 | 25,062 |
| 売上総利益 | 10,208 | 13,799 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,237 | 7,772 |
| 営業利益 | 2,970 | 6,026 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 2 |
| 為替差益 | 554 | 54 |
| 受取配当金 | 4 | 4 |
| 持分法による投資利益 | 19 | — |
| その他 | 44 | 58 |
| 営業外収益合計 | 624 | 120 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 42 | 205 |
| 支払手数料 | 1 | 5 |
| 持分法による投資損失 | — | 6 |
| その他 | 7 | 16 |
| 営業外費用合計 | 51 | 233 |
| 経常利益 | 3,543 | 5,913 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 |
| 投資有価証券売却益 | 23 | 19 |
| 特別利益合計 | 23 | 20 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 11 | 4 |
| 特別損失合計 | 11 | 4 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,556 | 5,929 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,277 | 797 |
| 法人税等調整額 | △519 | 1,300 |
| 法人税等合計 | 758 | 2,098 |
| 四半期純利益 | 2,797 | 3,831 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,797 | 3,831 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 2,797 | 3,831 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △62 | 90 |
| 為替換算調整勘定 | 2,069 | 325 |
| 退職給付に係る調整額 | △7 | △15 |
| 繰延ヘッジ損益 | △102 | △10 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 23 | 4 |
| その他の包括利益合計 | 1,921 | 394 |
| 四半期包括利益 | 4,718 | 4,225 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,718 | 4,225 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,556 | 5,929 |
| 減価償却費 | 872 | 969 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | △3 | △3 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 3 | 4 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △1 | △1 |
| 受取利息及び受取配当金 | △5 | △7 |
| 支払利息 | 42 | 205 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 1,030 | 1,087 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △8,361 | △6,567 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △5,885 | 289 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 1,080 | △250 |
| 未収消費税等の増減額 (△は増加) | 1,884 | 2,315 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △19 | 6 |
| 厚生年金基金解散損失引当金の増減額 (△は減少) | △301 | △301 |
| 役員株式給付引当金の増減額 (△は減少) | 33 | 13 |
| その他 | △294 | △901 |
| 小計 | △6,369 | 2,789 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5 | 7 |
| 利息の支払額 | △37 | △226 |
| 法人税等の支払額 | △1,471 | △1,795 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △7,872 | 774 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △934 | △1,083 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 0 | 0 |
| その他 | 17 | 24 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △917 | △1,058 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 9,875 | 1,778 |
| 長期借入れによる収入 | 100 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △100 | △662 |
| 配当金の支払額 | △1,709 | △987 |
| その他 | △130 | △153 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 8,034 | △24 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 95 | 36 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △659 | △271 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 12,110 | 14,271 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 11,451 | 13,999 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|--------------|-------------|-------------|--------|--------------|--------------|--------------------------------|
| | 小型屋外作業 機械 | 農業用管理 機械 | 一般産業用 機械 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 日本 | 3,438 | 3,979 | 2,776 | 10,194 | 450 | — | 10,644 |
| 米州 | 17,355 | 1,698 | 689 | 19,743 | — | — | 19,743 |
| 欧州 | 3,904 | 0 | 82 | 3,986 | 2 | — | 3,988 |
| その他 | 602 | 129 | 176 | 907 | △0 | — | 907 |
| 顧客との契約から生じ る収益 | 25,300 | 5,807 | 3,724 | 34,832 | 452 | — | 35,285 |
| その他の収益(注) 4 | — | — | 61 | 61 | 1 | — | 62 |
| 外部顧客への売上高 | 25,300 | 5,807 | 3,785 | 34,893 | 454 | — | 35,348 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | 19,078 | 3,627 | 2,870 | 25,575 | 233 | △25,809 | — |
| 計 | 44,378 | 9,435 | 6,655 | 60,469 | 687 | △25,809 | 35,348 |
| セグメント利益 | 4,380 | 168 | 288 | 4,837 | 99 | △1,965 | 2,970 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△1,965百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|--------------|-------------|-------------|--------|--------------|--------------|--------------------------------|
| | 小型屋外作業 機械 | 農業用管理 機械 | 一般産業用 機械 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 日本 | 3,526 | 3,457 | 2,458 | 9,442 | 397 | — | 9,839 |
| 米州 | 20,285 | 1,760 | 1,427 | 23,473 | — | — | 23,473 |
| 欧州 | 4,317 | — | 142 | 4,460 | — | — | 4,460 |
| その他 | 762 | 5 | 264 | 1,032 | — | — | 1,032 |
| 顧客との契約から生じ る収益 | 28,892 | 5,222 | 4,292 | 38,407 | 397 | — | 38,804 |
| その他の収益(注) 4 | — | — | 55 | 55 | 1 | — | 56 |
| 外部顧客への売上高 | 28,892 | 5,222 | 4,347 | 38,462 | 398 | — | 38,861 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | 13,778 | 3,180 | 3,640 | 20,600 | 242 | △20,842 | — |
| 計 | 42,671 | 8,403 | 7,987 | 59,062 | 641 | △20,842 | 38,861 |
| セグメント利益 | 7,518 | 229 | 666 | 8,414 | 34 | △2,422 | 6,026 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△2,422百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社の解散及び清算)

当社は、2023年5月12日開催の取締役会において、当社の連結子会社である愛可機械(深圳)有限公司(以下、愛可機械)について2024年1月を目処に解散し、清算手続きを開始することを決議いたしました。

1. 解散及び清算の理由

愛可機械は、2004年4月に当社の前身である株式会社共立が設立し、主に小型屋外作業機械の製造に加え、中国における小型屋外作業機械と農業用管理機械の販売を事業展開してまいりました。小型屋外作業機械の収益性の改善に取り組むにあたり製造拠点の集約化を進め、愛可機械で現在行っている製造工程を国内の事業所に移管することとし、2024年1月を目処に解散し、清算手続きを開始することといたしました。

2. 解散及び清算する子会社の概要

| | |
|---------|----------------------------|
| ①名称 | 愛可機械(深圳)有限公司 |
| ②所在地 | 中華人民共和国 広東省深圳市 |
| ③代表者の氏名 | 董事長総経理 平岡 洋光 |
| ④事業内容 | 小型屋外作業機械の製造・販売及び農業用管理機械の販売 |
| ⑤資本金 | 16,553千人民元 |
| ⑥出資比率 | 100% |

3. 解散及び清算の時期

2024年1月を目処に解散し、清算手続きを開始する予定であります。

4. 解散及び清算による損益の影響

当該解散及び清算により一時費用が発生しますが、2023年12月期の業績見直しには変更ありません。